

## V-Campus 7<sup>th</sup> 更新

### 1. 概要

立教大学の重要インフラである情報基盤「V-Campus」に対し、2016年にV-Campus 6<sup>th</sup>としてシステム強化・拡充と新サービス提供を目的とした更新を実施した。

2020年度は、V-Campus 6<sup>th</sup>から4年を経過し、新たに見えてきた課題や問題に対するとともに、コスト削減、最新技術によるセキュリティ向上も踏まえながら、より安定したサービス提供のため、整備を行った。

更新作業は、2019年12月に業者選定を終え、翌1月よりシステム更新作業を開始し、一部の機能(\*)を除き2020年10月末に移行作業を終了した。

(\*)IDM・認証機能については、要件が多岐にわたるため、2020年10月から12月にかけて基本機能を、2021年2月より追加要件分を実装し、2021年5月末をもって全て終了とした。

V-Campus 7<sup>th</sup> 更新対象範囲は以下の通り。

- ーp1. 回線
- ーp2. IDC
- ーp3. ネットワークセキュリティ
- ーp4. メールシステム
- ーp5. IDM・認証連携
- ーp6. サーバ・ストレージ
- ーp7. 監視

## 2. システム更新のポイント

### (1). p 1. 回線

回線コスト削減、バックアップ回線の帯域増強と多重化

### (2). p 2. IDC

IDC 移転によるコスト削減

### (3). p 3. ネットワークセキュリティ

新たなセキュリティ脅威への対策強化、IP-Sec VPN の導入、新座キャンパスのプライベート IP 化、IDC 移転

### (4). p 4. メールシステム

Office365 テナント分離に伴うメール配送変更、IDM 連携機能の強化

### (5). p 5. IDM・認証連携

二段階認証の導入、Office365 テナント分離に伴う認証と IDM 機能連携、アカウントグループ分割、ワークフロー機能強化

### (6). p 6. サーバ・ストレージ

IDC 移転、フラッシュストレージ統合によるパフォーマンス向上、仮想基盤の最新化

### (7). p 7. 監視

監視システムの統合化と、監視項目の見直し

